長崎県南島原市教育委員会

南島原市中学校部活動の地域展開

～南島原市から未来へつなぐ「南向きに生きよう!!」～

1 はじめに

（1）【令和８年度中の平日も含めた完全地域展開を実現させるために】

児童生徒の「やりたい！」「チャレンジしたい！」を応援できる環境をつくるためには?

子どもも大人も夢中になってスポーツや文化活動に親しみ、生涯にわたって豊かなスポーツ・文化ライフを送るきっかけをつくるためには?

南島原市における中学校部活動の地域展開の目的は次のとおりです。

○児童生徒が「生涯にわたって豊かなスポーツ・文化ライフ」を送るきっかけとなる地域クラブを運営及び支援する。

○児童生徒の「やりたい」を支援する。

○児童生徒の「健全育成」と「人間力向上」を第一に考え、支援する。

○保護者にとって「南島原市に住みたい」と思える魅力を作る。

○学校・地域の大人が「子どもと向き合える南島原市」にし、「地域総ぐるみで子どもを育てる場」とする。

○学校・地域の大人が「自分がやりたいスポー　ツ・文化活動」に関わることができる制度を作り、特技を最大限に生かせるための支援をする。

中学生だけでなく、小学生にとっても教職員を含めた地域の大人にとってもプラスとなるよう、南島原市の魅力の一つとなることを目指して取り組んでいます。

（2）【南島原市の特徴】

南島原市は人口約 40,000 人で、長崎県の南部、島原半島の南東部に位置し、有明海と雲仙普賢岳の豊かな自然に囲まれた市です。

【図1 南島原市】

歴史をさかのぼれば、1560 年代にキリスト教が伝来し、キリシタン文化が繁栄した時代もあった一方、弾圧を受けた時代もありました。「島原・天草一揆」の終焉の地としても有名です。

その中でも、「原城跡」は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の一つとして世界文化遺産に登録されています。

南島原市には、主要道路の国道251号線沿いに東西40㎞に小学校15校（分校2校含む）中学校8校、公立高校2校があります。令和７年度の児童数 1,738 名、生徒数 966 名ですが、今後6年間、毎年 100 人程度減少していく見込みです。

本市にとって、部活動の地域展開は、これまでにない新たな価値を創造し、地域を活性化させる最大のチャンスと捉えています。教育委員会がゴールや方向性を明確にして主導し、たとえ地域展開するにあたり困難な点があったとしても、それを克服することが、スポーツ・文化活動に育まれてきた私たち大人の役割でもあると考えています。

2 地域展開は難しい?

本市では、令和5年度に中学校部活動在り方検討委員会を設立し、令和6年度末までに7回開催してきました。令和5年度に地域クラブを支援するための制度を策定し、令和6年度に地域クラブ活動に関する方針を策定しました。令和7年度は「南島原市地域クラブサポートセンター」を7月に設立し、更なる取組を推進していきたいと考えています。

長崎県内の部活動の地域展開は、各自治体の進捗状況をみても、異なり、それぞれの自治体が抱える課題があります。

本市において地域展開を推進するにあたり、何が障壁となっているのかを検証し、子どもを「ど真ん中」に置き、多面的・多角的視野で、議論を行う必要があると考えます。

（1）打開策1「枠組みを作る」

本市では地域展開を推進していくにあたり、アンケートや部活動在り方検討委員会の意見をもとに以下の制度を創設しました。

①南島原市地域クラブ認定制度

教育委員会で認定要件を満たしたクラブを「地域クラブ」として認定し、各種支援を行う制度です。

※以下、認定要件の一部抜粋

○　実施の運営主体は、総合型地域スポーツクラブ（本市ではTEAMひまわり、アザリーベンスポーツクラブが運営に携わる）・スポーツ協会型（各協会が運営に携わる）・学校クラブ型（南島原市地域クラブサポートセンターが運営に携わる）であること。

○　実施対象は、原則、南島原市内を活動拠点とする地域クラブに所属する児童生徒で構成され、日常的に会員全員が活動をできる地域クラブであり、実施主体は、地域クラブとすること。

○　南島原市教育委員会が主催する指導者研修を受講し、南島原市教育委員会に指導者（南島原市スポーツ・文化活動指導者人才（じんざい）リスト）として登録されている指導者が運営に携わること。

○　認定地域クラブとして認定を受けた団体は、南島原市地域クラブサポートセンターの会員又は準会員となることを了承すること。

②南島原市立中学校拠点校部活動実施要項

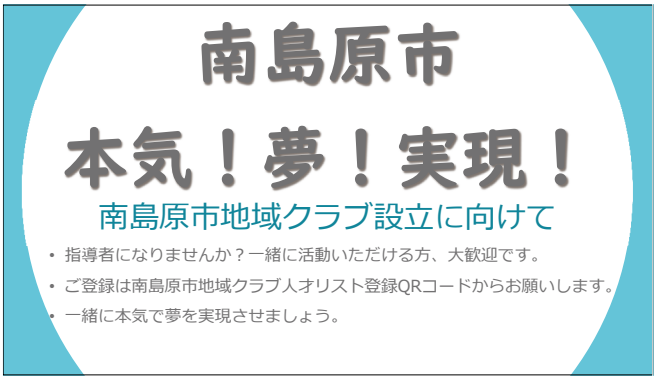
市校長会と協議して策定しました。令和7年度4つの部活動で実施しています。

③南島原市部活動地域移行推進事業及び Growsport 南島原（行政連携事業）による地域クラブ設立及び生徒移送サービス

地域クラブ会員および拠点校部活動部員の平日の活動拠点までの移送を、総合型地域スポーツクラブが所有するマイクロバスを活用したサービス事業（無料）として実施しています。現在、拠点校部活動で36名、地域クラブ活動で約200名が利用しています。

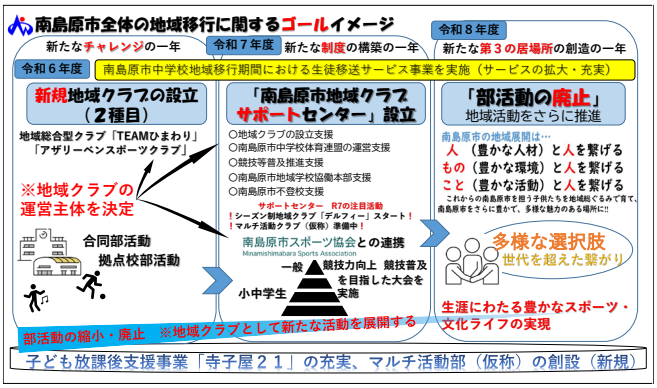
④南島原市地域クラブ指導者等人才（じんざい）リスト

指導者の確保のために、本市独自に人才リストを作成しました。「才」の字は登録者の才能を子どもたちのために生かしてほしいという意味を込めています。



【図2　人才リスト登録案内】

【図3　人才リスト登録案内】



【図4　地域展開ロードマップ】

⑤南島原市中学校社会体育・文化活動補助金交付要

人才リストに登録された指導者が運営する認定地域クラブに対して市が地域クラブ運営支援として補助金を交付しています。

⑥南島原市総合型地域スポーツクラブ支援補助金交付要綱

移送サービスを実施している総合型地域スポーツクラブに対して、移送サービス運営支援として補助金を交付しています。この補助金はスポーツ安全協会「スポーツ活動等普及奨励助成事業」により実現しています。

⑦南島原市地域クラブ活動方針の策定

本市では、国、県が示す方針をもとに地域の指導者目線に立った方針を策定するために、部活動在り方検討委員会で検討を行い、策定しました。

⑧南島原市地域クラブサポートセンターの設立と事業内容の整理（令和7年7月設立）

※4で詳細を説明

（2）打開策2「どんな意見も具現化」

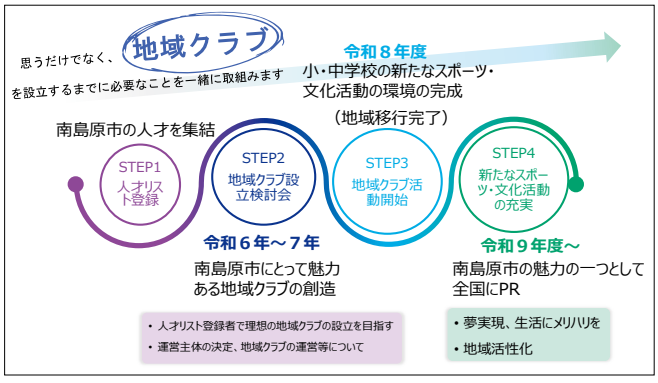
「意見を聞く」「まず具現化するための制度を作る」ことで改善すべき点が明らかになり、新たな意見が生まれてきます。それをさらに改善していきます。

「ベストよりもベター」を基本にしています。批判や否定的な意見の中にこそ、本来、取り組むべきことのヒントが隠れていると考えます。最も大切なことは「難しい」の一言で片づけるのではなく、「やってみよう」と前に進むことです。

そして、社会の変化に対応するためにスピード感を持って取り組むことが必要です。

（3）打開策3「教育委員会が主導する」

地域展開は、ただ部活動の受け皿となるクラブを設置し、地域クラブに任せるだけではうまくいきません。



【図5　地域展開ロードマップ2】

教育委員会が「まちづくり」の視点を持ち、明確な方針を示し、様々な団体との協議を経て施策等を実行することで成功すると考えています。

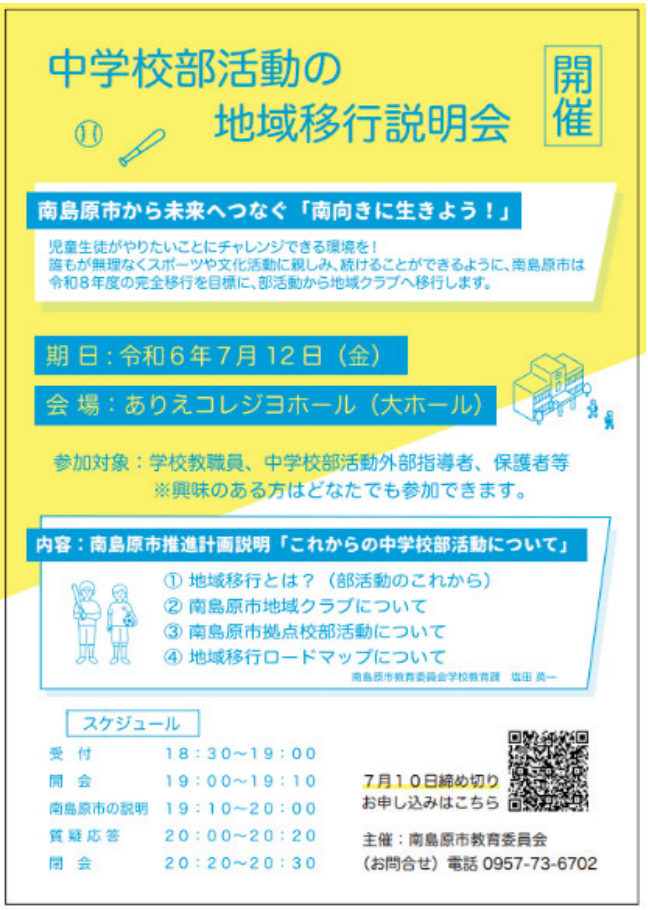
本市では学校教育課と生涯学習課が中心となり、首長部局や関連部署及び本市校長会と細やかな情報交換と意見交換を交わすことが学校と教育行政、行政の担当課を超えた横の連携の強化につながっています。

南島原市は一丸となって子どもたちのために地域展開の推進を行っています。

3 周知活動の重要性

（1）周知活動は「誰に」「何を」「いつまでに」「どのようにして」を明確に

市民を対象に地域展開の説明会を昨年7月に開催し、



【図6　市内説明会案内チラシ】

様々な団体から140名ほど参加がありました。

他にも、市スポーツ協会、競技団体、市 PTA 連合会、学校関係者、保護者、地域関係団体に対して、ありとあらゆる機会を設けて説明会を実施すると同時に、意見の集約を行っています。明確な方針を示すことが、学校関係者や保護者に安心感を与えることにつながっています。

（2）「繰り返す」ことの必要性

地域展開を理解してもらい、協力を得るには、あらゆる手段を使って（広報紙、HP、SNS、説明会等）説明を繰り返すことが重要です。その中で、最も効果的な周知方法は、「何度も足を運び意見を交わす」ことです。

（3）マイナスのイメージをプラスに変える

部活動の地域展開は、様々な課題ばかりがクローズアップされていると感じます。学校も部活動がなくなることで「どんな変化があるのか」想像ができず、子どもも大人も不安を抱えている状況です。

本市では教職員を対象にしたアンケートの中で「地域移行すべき」70%、「条件が整えば移行すべき」28%と、ほとんどの教職員が「地域展開」を望んでいると推察できます。説明の中で子どもや保護者、地域にとってどんなメリットがあるか、具体的な制度、スケジュールを示していくことが説明内容に説得力を持たせることになります。

南島原市の未来を自分たちのアイデアと行動で作ることを、関わる大人がワクワクしながら取り組んでいくことが地域展開を大きく推し進める力になると考えます。

（4）聞こえてきた声

説明会を実施していくうちに、関係者からのマイナスな意見は減少してきました。同時に様々な団体が興味を持ち、「地域のために何かできることをしたい」と説明会開催の要望が増えてきました。学校関係者だけでなく、地域の人たちに当事者意識が芽生えてきたと感じています。

4 南島原市地域クラブサポートセンターの設立

（1）設立の目的

この団体は、市民一人一人が本市教育の目的である「幸せで悔いのない人生を歩むための“善き人格”を育む」ための事業を行うとともに、南島原市の新たな地域クラブ活動の運営補助及び関係団体の支援、不登校児童生徒の支援を行い、部活動に変わる新たなスポーツ・文化環境づくりに寄与することを目的としています。

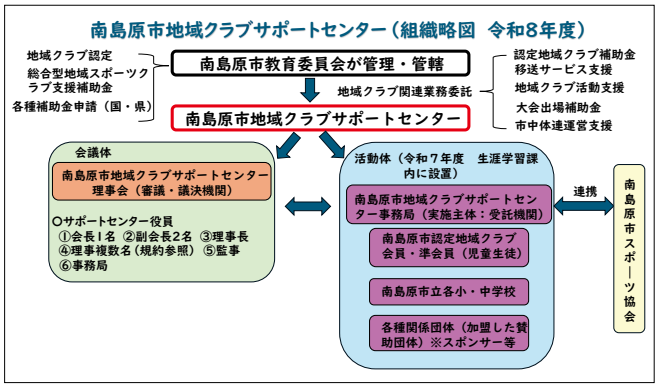
（2）統括組織としての二つの機能

①「会議体」として、関係団体を結び付け、理事会を通して、学校との連携を強化することを目的としています。

②「活動体」として、地域クラブ運営主体としての活動はもちろんのこと、将来的には、以下の6つの事業を展開し、本市の子どもたちを支援していくことを目的としています。

【南島原市地域クラブサポートセンター主要業務内容】について

〇南島原市立各小・中学生地域スポーツ・文化クラブ活動の運営及び活動支援
〇南島原市中学校体育連盟の運営支援
〇競技等普及推進活動支援
〇南島原市地域学校協働本部支援
〇南島原市立各小・中学校不登校支援
〇その他この団体の目的を達成するために必要な活動に対する支援は準会員となることを了承すること。
※南島原市地域クラブサポートセンター規約から抜粋



【図7　サポートセンター組織図】

（3）総括コーディネーターの配置

地域展開を推進するには、各団体を取りまとめ、方向性を示す人材が重要です。サポートセンター内にコーディネーターを配置することで、窓口が一本化され、より具体的な施策を講じることにつながります。

（4）新たな事業の創造

〇シーズン制地域クラブを設立

「デルフィーノ・マリンクラブ」

	実施日	活動場所	活動時間	活動内容
第１回	7月２９日（火）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	マリンスポーツ入門編
第２回	7月３１日（木）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	SUP の基本を学ぶ
第３回	8月　５日（火）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	カヌーの基本を学ぶ
第４回	8月　７日（木）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	SUP テクニック編
第５回	8月１２日（火）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	カヌーテクニック編
第６回	8月１９日（火）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	SUP＆OP ヨット編
第７回	8月２６日（火）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	ウィンドスポーツを学ぶ
第８回	8月２８日（木）	加津佐前浜海水浴場	10:00～12:00	カヌー海峡横断練習編
第９回	8月３０日（土）	熊本県牛深～鹿児島県長島町		長島海峡カヌー横断
第１０回	9月　６日（土）	※別途、会員にご連絡いたします。		ユニバーサルビーチ体験

【図8　募集案内チラシ】

令和7年度新たな取組として、地域の豊かな自然環境を生かし、南島原市 B&G 海洋センターと連携したシーズン制地域クラブを実施します。

全10回のプログラムを綿密に組み立て、豊かな体験活動となるよう構成しています。

長島海峡（熊本県牛深から鹿児島県長島の海峡8km）カヌー横断大会への参加や、最後の活動ではユニバーサルビーチ※体験会を企画し、障がいの有無に関係のない活動を実施する予定です。

※身体に障がいのある人やお年寄りであっても、自由に、安全に、快適に活動できるビーチ

5 成果と今後の展望

（1）成果

部活動を廃止し、平日も含めた完全地域展開がスタートしている種目

①サッカー競技（令和6年度4月から開始）
②バドミントン競技（令和7年4月から開始）
③硬式テニス競技（令和6年7月から開始）

部活動の受け皿として、平日も含めた完全地域展開がスタートしている種目

①女子バレー競技（令和6年7月から開始）
②軟式野球競技（令和6年9月から開始）
③吹奏楽（令和7年4月から開始）
④合唱（令和7年4月から開始）
⑤男子バレー競技（令和6年度設立。令和7年8月から開始予定）
⑥柔道競技（令和7年度中に設立。令和8年度4月から開始予定）

※バドミントン、硬式テニス競技、合唱はこれまで本市に部活動がなかった競技です。また、文化部も含めて地域クラブが設立され、地域展開の準備を整えています。

（2）今後の展望

①児童生徒の移動方法の充実のためにスクールバス活用の検討
②指導者の確保と質の向上のための研修等の体制整備
③南島原市地域クラブサポートセンターに係る制度や業務マニュアル、体制整備
④小中連携した地域クラブの設立
⑤小中カテゴリー大会（県大会の予選会として）の企画・運営

地域展開を推進していく中で、学校だけでなく、地域が抱える諸問題も浮き彫りになってきました。前述したこれから取り組んでいく事項に対して、一つ一つスピーディーに対応していくことが求められます。

そのことが将来的な「まちづくり」につなが故郷を愛し、地元の発展に貢献できる大人へと成長することに必ずつながっていくものと考えます。

この地域展開を大きなチャンスと捉え、さらなる充実を図っていき、本市の魅力を最大限に発信していきます。

6 おわりに

最後に、本市の地域展開のコンセプトをご紹介いたします。

「子どもが自分で考え、選び、活動する」
「教師も子どもも親も選べる環境」
「学校（職場）・家庭（地域） ＋
新たな第3の居場所づくり」

南島原市の地域展開は…

人（豊かな人材）と人を繋げる
もの（豊かな環境）と人を繋げる
こと（豊かな活動）と人を繋げる

これからの南島原市を担う子供たちを地域総ぐるみで育て、南島原市をさらに豊かで、多様な魅力のある場所に!!

【図9　社会教育指導員説明会資料から】